

工事の安全・無事故完了を祈願

～国道338号道路改良工事 安全祈願祭～



安全祈願祭会場の白糠坑口前

五月十二日（水）、白糠地区において、国道三三八号白糠バイパスの、白糠地区と六ヶ所村泊地区を結ぶトンネル工事の安全祈願祭が行われました。

県が整備する同バイパスは全長約六・五キロメートルあり、今回着工したのは、第Ⅰ期工区約三・八キロメートルのうちトンネル部分一・二キロメートルで、平成二十四年三月に完成予定です。

安全祈願祭は越善靖夫村長を始め、三村申吾知事や古川健治六ヶ所村長、工事関係者ら六十六名が出席し、神前にて鍬入の儀や玉串を捧げるなどをし、工事が無事完了することを祈りました。

神事終了後には、越善村長より「東通村・六ヶ所村には原子力施設があり、防災上重要な道路。一日も



神前に玉串を捧げる「玉串奉奠」



越善村長と古川村長による鍬入れの儀

早い完成と、第Ⅱ期工区の着手もお願いしたい。」と挨拶がありました。

また、事業主体として三村知事より「事業着手から二十余年たったがようやく着工まで至った。なにより早く開通させ、供用させたい。」と挨拶がありました。



越善村長挨拶



三村知事挨拶

現在の国道三三八号線白糠泊間は急勾配・急カーブが多く、本バイパスが開通することにより、より安全で冬季節も通行しやすい道路となることが見込まれることから、一日も早く開通することを期待します。



寄贈いただいた花は庁舎環境美化に活用させていただきました



この度、有限会社むつ緑化（むつ市 南谷宏二社長）より、庁舎周辺の環境美化のために、花卉を寄贈いただきました。

寄贈いただいた花は庁舎正面玄関前の花壇に植えさせていただきましたので、役場にお越しの際はぜひご覧下さい。

多数の花弁を寄贈いただき、ありがとうございます。

**村の環境美化のため
花を寄贈**